

No. 152

プロジェクト方式技術協力

プロジェクト概要と国別実績

昭和54年4月

国際協力事業団

企画
79-10

JICA
L000
36
PLC
LIBRARY

No. 152

プロジェクト方式技術協力

プロジェクト概要と国別実績



昭和54年4月

国際協力事業団

企画
CR(1)
79-10

国際協力事業団	
受入 月日 81.8.31	L000 1365
登録No. 14587	PLC

目 次

国名	プロジェクト名	協力区分	事業区分	担当部	頁	国名	プロジェクト名	協力区分	事業区分	担当部	頁	
バングラデシュ	循環器病医療センター	継	医	+	1	インドネシア	ジャワ山岳林収獲技術協力	継	農	□	27	
	家族計画	"	"	+	2		農業研究(ボゴール)	"	"	"	"	28
	農業普及	"	農	□	3		ランボン農業開発計画	"	"	"	"	29
	園芸研究	"	"	□	4		西部ジャワ食糧増産	終	"	"	"	30
ヒルマ	橋梁技術訓練センター	"	セ	○	5		南スラウエシ農業開発2次	調	"	"	"	31
	冶金研究開発センター	新	"	△	6		かんがい排水技術センター	"	"	"	"	32
	生物医学研究センター	新	医	+	7		作物保護	新	"	"	"	33
	歯科大学	終	"	"	8		建材開発	継	産	△	"	34
	農業開発	新	農	□	9		韓国	大田職業訓練院	"	セ	○	35
	畜産開発	継	"	"	10			聖パウロ病院循環器センター	"	医	+	36
	アラカン山系林業開発	"	"	"	11			中央大学校臨床栄養研究センター	"	"	+	37
インド	らい研究	終	医	+	12	カソリック医科大学産業医学センター		終	"	+	38	
	農業協力	調	農	□	13	農業研究計画		継	農	□	39	
インドネシア	スラウエシ工業技術訓練センター	継	セ	○	14	ラオス		タゴン農業開発	終	"	"	40
	看護教育	"	医	+	15	マレーシア		金属工業技術センター	継	セ	△	41
	家族計画	"	"	"	16		MARAジョホールバル職業訓練校	"	"	○	42	
	中央生物学医学研究所	"	"	"	17		船舶機関士養成計画	"	"	"	43	
	北スマトラ地域保健対策	"	"	"	18		水管理訓練計画	"	農	□	44	
	南スマトラ森林造成	新	農	□	19	ネパール	トリブバン大学医学部	新	医	+	45	
	農業開発リモートセンシング技術	新	農	□	20		西部地域公衆衛生対策	継	"	"	46	
	中堅技術者養成計画	継	"	"	21		農業開発計画(ジャナカプール)	"	農	□	47	
	浅海養殖	"	"	"	22	中小工業開発	新	産	△	48		
	養蚕開発協力	"	"	"	23	パキスタン	中央電気通信研究所	継	セ	○	49	
	南スラウエシ農業開発計画	"	"	"	24		医学研究	新	医	+	50	
	家畜衛生協力	"	"	"	25		林業教育研究	調	農	□	51	
	ボゴール農科大学農産加工	"	"	"	26	フィリピン	窯業研究開発	継	セ	△	52	

国名	プロジェクト名	協力区分	事業区分	担当部	頁	国名	プロジェクト名	協力区分	事業区分	担当部	頁		
フィリピン	鑄造技術センター	調	セ	△	53	タイ	かんがい農業開発	継	農	□	80		
	道路交通訓練センター	継	〃	○	54		養蚕開発協力	フォロー	〃	〃	〃	81	
	電気通信訓練センター	調	〃	○	55		えび養殖	終	〃	〃	〃	82	
	熱帯医学研究所	新	医	+	56		沿岸養殖	調	〃	〃	〃	83	
	家族計画	継	〃	〃	57		とうもろこし開発	継	産	〃	〃	84	
	住血吸虫症研究対策	フォロー	〃	〃	58		天然ゴム品質改善	継	〃	△	〃	85	
	カガヤン農業開発	継	農	□	59		一次産品開発協力オイルシードラボラトリー及び大豆開発	終	〃	〃	〃	86	
	パンタパンガン森林造成	〃	〃	〃	60		スラタニ道路建設技術訓練センター	〃	セ	○	〃	87	
	ボホール総合農業開発	調	〃	〃	61		南西アジア (パキスタン, スリランカ)	工業技術開発	新	産	△	〃	88
	稲作開発	終	〃	〃	62			アフガニスタン	電気通信訓練センター	新	セ	○	89
	シンガポール	日・シ訓練センター	〃	セ	○		64	アフガニスタン	結核対策	継	医	+	90
スリランカ	高等水産講習所	〃	〃	□	65	国立WAK病院	フォロー		〃	〃	〃	91	
	スリランカ大学ペラデニヤ第2教育病院	新	医	+	66	稲作開発センター	継		農	□	〃	92	
	薬品検査試験所	終	〃	〃	67	アルジェリア	オラン科学技術大学医療センター		継	医	+	93	
	デワフラ村落開発	〃	農	□	68	エジプト	繊維研究開発	新	セ	○	94		
	農業開発	調	〃	〃	69		アラブ海運大学	継	セ	○	95		
タイ	モンクット王工科大学	継	セ	○	70		ショブラ機械整備職訓センター	〃	〃	〃	96		
	東北タイ職業訓練センター	〃	〃	○	71		看護教育研究	〃	医	+	97		
	家具産業振興開発	〃	〃	△	72		米作機械化プロジェクト	調	農	□	98		
	看護教育	新	医	+	73	イラン	電気通信研究センター	終	セ	○	99		
	地域保健活動向上計画	継	〃	〃	74		小規模工業技術訓練センター	〃	〃	〃	100		
	家族計画	〃	〃	〃	75		産業衛生・核医学	継	医	+	101		
	がんセンター	フォロー	〃	+	76		ザボール農業研究	〃	農	□	102		
	カセサート大学	新	農	□	77		イラク	電気産業訓練	〃	セ	○	103	
	国立雑草科学研究所	新	〃	〃	78	王立科学院電子工学サービス		〃	セ	○	104		
	家畜衛生協力	継	〃	〃	79								

国名	プロジェクト	協力区分	事業区分	担当部	頁	国名	プロジェクト	協力区分	事業区分	担当部	頁
サウジアラビア	リヤド電子工業高校	継	セ	○	105	ブラジル	リベイラ川流域農業開発	継	農	□	130
シリア	鶏病予防センター	終	〃	□	106		農業研究協力	〃	〃	〃	131
	メスケネ試験農場	新	農	□	107		鉱物資源開発	〃	産	△	132
チュニジア	チュニジア国立漁業センター	継	セ	□	108		パラナ州中小工業	新	〃	〃	133
	薬品品質管理	〃	医	+	109	チリ	胃がん対策	継	医	+	134
トルコ	イスタンブール水産職業高等学校	〃	セ	○	110		水産養殖	新	農	□	135
ガーナ	ガーナ大学医学部	〃	医	+	111		銅製錬開発	継	産	△	136
ケニア	ケニヤッタ農工大学	新	セ	○	112	コスタリカ	コスタリカ大学医学部	フォロー	医	+	137
	NYS上級技術訓練センター	継	〃	〃	113	エクアドル	微生物病研究対策	継	〃	〃	138
	伝染病研究対策	〃	医	+	114	グアテマラ	オンコセルカ症研究対策	〃	〃	+	139
	ケニヤッタ病院	終	〃	〃	115	パラグアイ	職業訓練センター	〃	セ	○	140
マダガスカル	北部畜産開発	継	農	□	116		らい対策	〃	医	+	141
ナイジェリア	イフェ大学医学部	フォロー	医	+	117		イタプア林業開発	〃	農	□	142
	ナイジェリア大学医学部	〃	〃	〃	118		テラロシア農業開発	〃	〃	□	143
	職業訓練センター	調	セ	○	119	ベルギー	電気通信センター	新	セ	○	144
タンザニア	結核対策	フォロー	医	+	120		水産加工センター	継	セ	○	145
	キリマンジャロ農業開発	継	農	□	121		生鮮食品流通改善	新	産	△	146
	〃 州中小工業開発	〃	産	△	122		鉱山保安技術育成	継	〃	〃	147
アフリカ地区 (ザンビア又はザイール)	公衆衛生対策	新	医	+	123	メキシコ	選鉱製錬技術育成	新	〃	〃	148
アルゼンチン	健康管理システム	継	医	+	124	ウルグァイ	野菜研究	継	農	□	149
ポリヴィア	消化器病研究対策	〃	〃	〃	125	ヴェネズエラ	港湾オペレーター	新	セ	○	150
	亜鉛等有害鉱物回収	〃	産	△	126	(その他)					151
ブラジル	SENAI職訓センター	〃	セ	○	127	中南米メキシコ	水産加工流通改善	調	産	△	
	ポルトアレグレカトリック大学成人病研究所	フォロー	医	+	128	南米地区					
	林業研究	継	農	□	129	(ペルー又はブラジル)	公衆衛生対策	調	医	+	152
						ミクロネシア	ミクロネシア漁業開発プロジェクト	継	農	□	153

プロジェクト国別一覧

(△は事前調査, □はR/D署名, ○は協力, ○Iは修了)

地域	国名	54年度 協力件数 (新継, フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間						
						51年度	52	53	54	55	56	終了年度等
アジア		67										
	バングラデシュ	4	継	医	循環器病医療センター			□○	○	○	○	S. 59. 2 終了予定
			継	"	家族計画	○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定
			"	農	農業普及	○	○	○	○	○	○	S. 58. 10 終了予定
			"	"	園芸研究		□○	○	○	○		S. 55. 11 終了予定
	ビルマ	6	継	セ	橋梁技術訓練センター	△			□○			協力期間未定
			新	"	冶金研究開発センター				□○			"
			"	医	生物医学研究センター		△		□○			協力期間未定
			終	"	歯科大学	○	○	○I				S. 54. 3 終了予定
			新	農	農業開発			△	□			協力期間未定
			継	"	畜産開発		△□	○	○	○	○	S. 57. 4 終了予定
			"	"	アラカン山系林業開発	△	□○	○	○	○	○I	S. 57. 3 終了予定
	インド	0	終	医	ライ研究	○	○I					
			調	農	農業協力				△			
	インドネシア	18	継	セ	スラウエシ工業技術訓練センター	○	○	○	○			S. 55. 2 終了予定
			"	医	看護教育		△	□○	○	○	○	S. 58. 11 終了予定
			継	"	家族計画	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
			"	"	中央生物医学研究所	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
			"	"	北スマトラ地域保健対策	△	□	○	○	○	○	S. 58. 3 終了予定
		新	農	南スマトラ森林造成			△	□○	○	○	S. 59. 4 終了予定	
		"	"	農業開発リモートセンシング技術			△	□○			協力期間未定	
		継	"	中堅技術者養成計画			□○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定	

地域	国名	54年度 協力件数 (新, 継 フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間						終了年度等
						51年度	52	53	54	55	56	
アジア	インドネシア		継	農	浅海養殖			□○	○	○	○	S. 57. 3 終了予定
			"	"	養蚕開発協力	□○	○	○	○	○	○	S. 58. 2 終了予定
			"	"	南スラウエシ農業開発計画	□○	○	○	○			S. 54. 6 終了予定 (30ヶ月延長予定)
			"	"	家畜衛生協力	△	□○	○	○	○		S. 55. 7 終了予定
			"	"	ボゴール農科大学農産加工		□○	○	○			S. 54.10 終了予定
			"	"	ジャワ山岳林収獲技術協力		△□	○	○	○	○	S. 56. 4 終了予定
			"	"	農業研究 (ボゴール)	○	○	○	○	○	○	S. 58.10 終了予定
			"	"	ランボン農業開発計画	○	○	○	○	○		S. 55.11 終了予定
			終	"	西部ジャワ食糧増産	○						S. 51. 5 終了
			調	"	南スラウエシ農業開発2次				△			
			"	"	かんがい排水技術センター				△			
			新	"	作物保護				□			協力期間未定
			継	産	建材開発	△		□○	○	○	○	S. 57. 7 終了予定
韓 国	4	継	セ	大田職業訓練院	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定	
		"	医	聖パウロ病院循環器センター			△□	○	○	○	S. 58. 3 終了予定	
		継	"	中央大学校臨床栄養研究センター	○	○	○	○			S. 54. 9 終了予定	
		終	"	カソリック医科大学産業医学センター	○							
		継	農	農業研究計画	○	○	○	○			S. 54. 6 終了予定	
ラ オ ス	0	終	農	タゴン農業開発	○	○						
マ レ イ シ ア	4	継	セ	金属工業技術センター		△	□○	○	○	○	S. 57. 8 終了予定	
		継	"	MARA ジョホールバル職業訓練校	□○	○	○	○	○		S. 55. 9 終了予定	
		"	"	船舶機関士養成計画	○	○	○	○	○		S. 55. 6 終了予定	
		"	農	水管理訓練計画		□○	○	○	○	○	S. 57. 9 終了予定	
ネ パ ー ル	4	新	医	トリバン大学医学部				△□			協力期間未定	

地域	国名	54年度 協力件数 (新, 継 フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間						
						51年度	52	53	54	55	56	終了年度等
アジア	ネパール		継	医	西部地域公衆衛生対策	○	○	○	○	○		S. 56. 2 終了予定
			〃	農	農業開発計画 (ジャナカプール)	○	○	○	○			S. 54. 11 終了予定
			新	産	中小工業開発			△	□○			協力期間未定
	パキスタン	2	継	セ	中央電気通信研究所			□○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定
			新	医	医学研究				△□			協力期間未定
			調	農	林業教育研究				△			
	フィリピン	8	継	セ	窯業研究開発センター	□○	○	○	○	○		S. 55. 7 終了予定
			調	セ	鑄造技術センター				△			
			継	〃	道路交通訓練センター		□○	○	○	○	○	S. 56. 4 終了予定
			調	〃	電気通信訓練センター				△			
			継	医	熱帯医学研究所				□○			協力期間未定
			継	〃	家族計画	○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定
			フォロー	〃	住血吸虫症研究対策	○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定
			継	農	カガヤン農業開発	○	○	○	○	○	○	S. 57. 2 終了予定
			〃	〃	パンタバンガン森林造成	□○	○	○	○			S. 54. 6 終了予定
			調	〃	ボホール総合農業開発				△			
			終	〃	稲作開発	○						
			継	産	パーティクルボード開発	△□○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
	シンガポール	1	継	セ	日シ訓練センター		△	□○	○	○	○	S. 58. 6 終了予定
	スリランカ	2	継	セ	高等水産講習所	○	○	○	○	○		S. 55. 4 終了予定
		新	医	スリランカ大学ベラデニア第2教育病院			△	□			協力期間未定	
		終	〃	薬品検査試験所	○							
		終	農	テワフワ村落開発	○							
		調	〃	農業開発				△				

地域	国名	54年度 協力件数 (新, 継 フォロー)	協 力 区 分	事 業 区 分	プロジェクト名	協 力 期 間						
						51年度	52	53	54	55	56	終了年度等
アジア	タイ	14	継	セ	モンクット王工科大学			△□○	○	○	○	S. 57. 12 終了予定
			継	〃	家具産業振興開発	□○	○	○	○			S. 54. 11 終了予定
			〃	〃	東北タイ職業訓練センター	△	□○	○	○	○	○	S. 56. 12 終了予定
			新	医	看護教育		△		□○			協力期間未定
			継	〃	家族計画	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
			〃	〃	地域保健活動向上計画	○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定
			フォロー	〃	がんセンター	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
			新	農	カセサート大学			△	□○			協力期間未定
			〃	〃	国立雑草科学研究所			△	□			〃
			継	〃	家畜衛生協力	△□	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
			〃	〃	かんがい農業開発	△	□○	○	○	○	○	S. 57. 4 終了予定
			フォロー	〃	養蚕開発協力	○	○	○	○			S. 55. 3 までフォロー アップ協力予定
			終	〃	えび養殖開発協力	○	○	○				
			調	〃	沿岸養殖				△			
			継	産	とうもろこし開発協力	□○	○	○	○			S. 54. 9 終了予定
			〃	〃	天然ゴム品質改善	□	○	○	○			S. 55. 3 終了予定
	終	〃	一次産品開発	○								
	〃	セ	道路建設及び訓練技術協力センター	○	○					S. 52. 11 終了		
	そ の 他		調	産	南西アジア (工業技術開発)				△	□	協力期間未定	
中近東		17										
	アフガニスタン	3	新	セ	電気通信訓練センター				△□			協力期間未定
			継	医	結核対策	○	○	○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定
			終	〃	WAK病院	○	○					
		〃	医	結核対策	○	○	○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定	

地域	国名	54年度 協力件数 (新継, フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間							
						51年度	52	53	54	55	56	終了年度等	
中近東	アフガニスタン		継	農	稲作開発センター	△		□○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定	
	アルジェリア	1	継	医	オラン科学技術大学医療センター	△	□	○	○	○	○	S. 58. 3 終了予定	
	エジプト		4	新	セ	繊維研究開発			△	□			協力期間未定
				継	〃	アラブ海運大学校	□○	○	○	○	○		S. 55. 11 終了予定
				〃	〃	ショブラ機械整備職業訓練センター	○	○	○	○	○	○	S. 57. 1 終了予定
				〃	医	看護教育研究	△	□	○	○	○	○	S. 58. 3 終了予定
				調	農	米作機械化プロジェクト				△			
	イラン		2	終	セ	電気通信研究センター	○	○					S. 52. 3 終了
				〃	〃	小規模工業技術訓練センター	○	○					S. 52. 10 終了
				継	医	産業衛生・核医学		□	○	○	○	○	S. 57. 3 終了予定
				〃	農	ザボール農業研究		□○	○	○			S. 55. 3 終了予定
	イラク	1	継	セ	電気産業訓練	○	○	○	○			現R/Dでは センター開所まで S. 54. 7 開所予定	
	ジョルダン	1	継	セ	王立科学院電子工学サービスセンター	△	□○	○	○	○	○	S. 56. 12 終了予定	
	サウジアラビア	1	継	セ	リヤド電子工業高校	○	○	○	○			開校まで協力予定	
	シリア		1	終	セ	鶏病予防センター	○	○					
				新	農	メスケネ試験農場			△	□			協力期間未定
チュニジア		2	継	セ	国立漁業開発センター	△	□	○	○	○	○	S. 56. 6 終了予定	
			〃	医	薬品品質管理	△	□	○	○	○	○	S. 57. 3 終了予定	
トルコ	1	〃	セ	イスタンブール水産職業高等学校	○	○	○	○			S. 54. 6 終了予定		
アフリカ		11											
	ガーナ	1	継	医	ガーナ大学医学部	○	○	○	○			S. 55. 6 終了予定	
	ケニア	3	新	セ	ケニヤック農工大学			△	□			協力期間未定	
			継	〃	NYS上級技術訓練センター	○	○	○	○			S. 54. 5 終了予定	
			継	医	伝染病研究対策		△	□	○	○	○	S. 59. 3 終了予定	

地域	国名	54年度 協力件数 (新規, フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間								
						51年度	52	53	54	55	56	終了年度等		
アフリカ	ケニア		終	医	ケニヤッタ病院	○	○							
	マダガスカル	1	継	農	北部畜産開発		□○	○	○	○		S. 55. 11 終了予定		
	ナイジェリア	2	フォロー	医	イフェ大学医学部	○	○	○	○			S. 54. 12 終了予定		
					ナイジェリア大学医学部	○	○	○	○			S. 54. 12 終了予定		
					職業訓練センター				△					
	タンザニア	3	フォロー	医	結核対策	○	○	○	○			S. 55. 3 終了予定		
					継	農	キリマンジャロ農業協力	○	□○	○	○	○	○	S. 57. 9 終了予定
							産	キリマンジャロ州中小工業開発			□○	○	○	○
その他	1	新	医	公衆衛生対策等				△□			協力期間未定			
中南米		25												
中南米	アルゼンチン	1	継	医	健康管理システム	△□	○	○	○	○	○	S. 57. 3 終了予定		
	ボリビア	2	"	"	消化器病研究対策	△□	○	○	○			S. 55. 3 終了予定		
					産	亜鉛等有価物回収	□○	○	○	○			S. 55. 2 終了予定	
	ブラジル	5	継	セ	SENAI職業訓練センター		△	□○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定		
					終	医	ポルトアレグレカソリック大学成人病研究所	○	○	○				
					継	農	林業研究		△	□○	○	○	○	S. 59. 3 終了予定
					継	"	リベイラ河流域農業開発	○	○	○	○			未定
					"	"	農業研究協力		○	○	○	○	○	S. 57. 9 終了予定
					"	産	鉱物資源開発	△	□	○	○	○		S. 56. 3 終了予定
					調	"	パラナ州中小工業				△			
	チリ	3	継	医	胃がん対策	△□	○	○	○			S. 55. 3 終了予定		
新					農	水産養殖			△	□			協力期間未定	
継					産	銅製錬開発	□○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定	
コスタリカ	1	フォロー	医	コスタリカ大学医学部	○	○	○	○	○		S. 56. 3 終了予定			

地域	国名	54年度 協力件数 (新規、 フォロー)	協力 区分	事業 区分	プロジェクト名	協 力 期 間						終了年度等
						51年度	52	53	54	55	56	
中南米	エクアドル	1	継	医	微生物病研究対策	△□	○	○	○	○	○	S. 57. 3終了予定
	グアテマラ	1	〃	〃	オンコセルカ症研究対策	○	○	○	○	○	○	S. 55. 9終了予定
	パラグアイ	4	〃	セ	職業訓練センター		□○	○	○	○	○	S. 57. 2終了予定
				医	ライ対策	○	○	○	○	○	○	S. 56. 3終了予定
				農	イタプア林業開発		△	□○	○	○	○	S. 59. 3終了予定
				〃	テラロシア農業開発		△	□○	○	○	○	S. 59. 3終了予定
	ベ ル ー	4	新	セ	電気通信センター			△	□○			協力期間未定
				継	水産加工センター	○	○	○	○	○	○	S. 55. 10終了予定
				新	生鮮食品流通改善			△	□			協力期間未定
				継	鉱山保安技術育成	△	□○	○	○	○	○	S. 56. 12終了予定
	メキシコ	1	新	産	選鉱・製錬技術育成			△	□		協力期間未定	
	ウルグアイ	1	継	農	野菜研究	△	□	○	○	○	○	S. 56. 7終了予定
	ヴェネズエラ	1	新	セ	港湾オペレーター養成計画			△	□			協力期間未定
	そ の 他	0	調	産	中南米水産加工流通改善				△			
医				公衆衛生対策等				△				
その他		1										
	ミクロネシア	1	継	農	漁業開発			□○	□○			S. 55. 3終了予定
合 計		121										

(注) (1) 協力件数は調、終は含まないが54年度実施協議(R/D予定)を含む。

(2) 協力期間は協定又はR/Dにより確定しているものを記入

(今後延長される見込等は含まず)

区分 セ 農 産

件数	区分	プロジェクト概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
4	継	プロジェクト名 循環器病医療センター (1) 協力期間 R/D 昭和54年2月～昭和59年2月 (2) 所在地 ダッカ 相手国協力機関名 保健家族計画省 (3) 協力規模 4.6億円 (4) 概要 バングラデシュ国の循環器病対策の中心的な機関となる循環器病の診断・治療・予防面での機能強化を図り、その内容の充実に資する。 循環器病研究所の機能を強化することによって、バングラデシュ国における主要な死因のひとつである循環器病の予防、診断、治療の水準を上げ、循環器病対策の発展に寄与することを目的とする。 (5) 無償(EN後)	54/2	実施協議	40,000	52年度まで実績累計	—	—	—
						53年度実績	—	3	—
						54年度計画	40,000	2	3
						55年度以後見込	220,000	19	16

区分 セ 農 産

アジア地域
国名 バングラデシュ

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
3	継	プロジェクト名	家族計画	49/11	事前調査	1,287	52年度 まで実績累計	120,345	4	3
		(1) 協力期間	R/D 昭和51年3月～昭和56年3月	51/3	実施協議					
		(2) 所在地	ダッカ, DND地区	52/8	計画打合せ					
		(2) 相手国協力機関名	保健家族計画省	54/9	巡回指導					
(3) 協力規模	4.8億円			53年度 実績	21,436	6	1			
(4) 概要	ダッカ, ナラヤンガンジェ, デムラモデル地域において, 母子保健とインテグレートした家族計画協力を実施するものであり, 家族計画クリニックの充実, 及び普及活動の円滑化を計る。			54年度 計画	93,188	5	3			
(5) 無償(EN後)				55年度 以後見込	80,000	4	3			

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 バングラデシュ

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	農業普及	45/8	事前調査	2,496	52年度 まで実績 累計	366,608	29	4
	(1) 協力期間	R/D	昭和50年3月～昭和53年10月	47/8	実施協議					
		協定	昭和53年10月～昭和58年10月	49/3	巡回指導					
	(2) 所在地	ジョイデプール(ダッカより北方40km)		49/10	"					
		相手国協力機関名	農林省	50/3	計画打合せ					
	(3) 協力規模	約12億円(予定)		51/4	巡回指導		53年度 実績	69,000	14	6
	(4) 概要	中央農業普及技術開発研究所における実用試験, 普及教材の開発, 普及員養成のための教員の資質向上を図るとともに, 普及実験地域(3カ所)における実証試験(中央農業普及技術開発研究所設立)		51/8	"					
				53/12	計画打合せ					
				54/6	巡回指導		54年度 計画	40,000	22	5
	(5) 無償(EN後)	昭和50年度 700 百万円 51年度 180 百万円(農業機械化研究及び農業普及実験地域実証試験のための施設)								

区分 セ 医 農 産

アジア地域
 国名 バングラデシュ

件数	区分	プロジェクト 概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名 園芸研究 (1) 協力期間 R/D 昭和52年11月～昭和55年11月 (2) 所在地 ジョイデプール(ダッカより北方40km) 相手国協力機関名 農林省 (3) 協力規模 (4) 概要 園芸研究センターにおけるかんきつ及び野菜種子改良調整等の現地に適 応する技術の確立のための試験研究並びに3サブセンターにおける現地試 験に対する指導。 (5) 無償(EN後) 昭和51年度 130 百万円 (かんきつ野菜種子研究施設)	51/2	事前調査	4,940 (インドネシア 農研含む)	52 年度 まで 実績 累計	40,000	2	—
			51/8	実施協議					
			52/11	実施設計					
			54/10	巡回指導					
					53 年度 実績	64,187	5	4	
					54 年度 計画	50,000	7	4	
					55 年度 以後 見込	165,813	27	—	

区分 ② 医農産

アジア地域
国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト概要	調査		54年度計画(千円)	年度別	機材(千円)	専門家(人)	研修員(人)
			期日	種別					
6	継	<p>プロジェクト名 橋梁技術訓練センター</p> <p>(1) 協力期間 R/D 昭和54年月～昭和58年月(予定)</p> <p>(2) 所在地 ラングーン 相手国協力機関名 建設公社</p> <p>(3) 協力規模 5,4億円</p> <p>(4) 概要 ビルマ国における工業化・農業政策には、第一に道路橋梁整備が必要である。そのため既存の建設公社中央訓練センターを利用し、橋梁建設工事に精通したエンジニアを養成するものである。</p> <p>(5) 無償(EN後) 昭和53年度緊急無償 5億円(Steel Barのみ。但し、本件プロジェクト用に使用する分は1.3億円見込)</p>	51/12	事前調査		52年度まで実績累計	—	—	2
			53/3	実施協議		53年度実績	—	3	5
			54/	実施協議		54年度計画	57,456	9	5
						55年度以後見込	180,000	11	20

区分 ㊟ 医農産

アジア地域
 国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	新	プロジェクト名 冶金研究開発 (1) 協力期間 (RD未署名) 3年間の予定 (2) 所在地 エラ 相手国協力機関名 中央冶金研究所 (3) 協力規模 2,2億円 (4) 概要 銅・錫・亜鉛に関する選鉱製錬, 技術開発, 人材育成, 現場指導等の機能を有する研究所の設立 (5) 無償(EN後) 昭和54年度 2,000 百万円	55/1	実施協議	3,570	52年度 まで実績累計	—	—	—
						53年度 実績	—	—	—
						54年度 計画	—	3	2
						55年度 以後見込	100,000	5	4

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	新	<p>プロジェクト名 生物医学研究センター</p> <p>(1) 協力期間 R/D 54年度中予定</p> <p>(2) 所在地 ラングーン</p> <p>相手国協力機関名 保健省医学研究局</p> <p>(3) 協力規模 未定</p> <p>(4) 概要</p> <p>無償協力により建設が進められている生物医学研究センターに対し、生物医学的研究への技術協力を実施し、臨床及び予防対策に寄与する。</p> <p>(5) 無償(EN後) 昭和50年度 7.0億円 } 建物建設 昭和52年度 15.0億円 } 昭和53年度 13.0億円 }</p>	52/9	事前調査		52年度 まで実績累計	—	—	—
			53/10	実施協議		53年度 実績	—	—	—
						54年度 計画	30,000	2	1
						55年度 以後見込	—	5	5

区分	セ 農 産
----	-------

アジア地域
 国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト 概 要	調 査			年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期 日	種 別	54年度 計画(千円)				
	終	プロジェクト名 歯科大学	47/7	基礎調査		52年度 まで実績 累計	110,450	12	15
	(1)	協力期間 R/D 昭和47年4月～昭和50年3月 フォローアップ 昭和50年4月～昭和54年3月	48/2	実施調査					
	(2)	所在地 ラングーン	49/10	機材修理					
		相手国協力機関名 国立歯科大学及び附属学校歯科看護婦養成所	51/4	機材修理		53年度 実績	—	3	2
	(3)	協力規模 1.5億円(予定)							
	(4)	概要 国立歯科大学口腔細菌学、口腔病理学研究室の整備及び同学付属学校歯科看護婦養成所での人材養成という教育協力を通じて、ビルマ国の歯科衛生事情の改善に資する。							
	(5)	無償(EN後)							
						54年度 計画	—	—	—
						55年度 以後見込	—	—	—

区分	セ 医 農 産
----	---------

アジア地域
国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト 概要	調査		54年度 計画(千円)	年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期 日	種 別					
	新	プロジェクト名 農業開発 (1) 協力期間 未定 (2) 所在地 相手国協力機関名 農林省 (3) 協力規模 未定 (4) 概 要 イラワジ川流域内の試験場を拠点として稲作を中心とした応用試験，技 術者養成等に対する協力 (5) 無 償 (E N 後)	54/3 54/	事前調査 実施協議	4,900	52 年度 まで 実績 累計	—	—	—
						53 年 度 実 績	—	—	—
						54 年 度 計 画	—	—	—
						55 年 度 以 後 見 込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	畜産開発	51/12	プロファイ	2,620	52年度 まで実績累計	—	—	—
	(1) 協力期間	R/D	昭和53年4月～昭和57年4月	53/1	事前調査					
	(2) 所在地	ラングーン		53/3	実施協議					
	相手国協力機関名	農林省畜産公社		54/1	計画打合せ					
	(3) 協力規模			54/	巡回指導					
	(4) 概要	ラングーン市近郊に設置される養豚、養鶏場及び研修施設において飼養・生産技術の指導研修事業を行う。				53年度実績	86,000	7	—	
	(5) 無償(EN後)					54年度計画	55,000	9	4	
						55年度以後見込	100,000	18	8	

区分 セ 医 農 産

アジア地域

国名 ビルマ

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	アラカン山系林業開発	51/12	事前調査		52年度 まで実績累計	—	2	3
		(1) 協力期間	R/D 昭和52年12月～昭和57年3月	52/6	実施調査					
		(2) 所在地	ラングーン及びバセイン (ラングーンより200km西方)	52/11	計画打合せ					
		相手国協力機関名	木材公社	53/11	実施設計		53年度 実績	80,000	6	3
		(3) 協力規模								
		(4) 概要	アラカン山系山岳地における架線集材方式を中心とした伐木集材技術体系の確立及び教育訓練を行なうため、ラングーンに山地林開発技術センター、バセイン市にパイロット伐出センターを設立し、技術開発、基礎訓練及びオンザジョブトレーニングを行う。							
		(5) 無償(EN後)								
							54年度 計画	100,000	7	4
							55年度 以後見込	220,000	7	8

区分 セ 医 農 産

アジア地域
 国名 インド

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
0	終	プロジェクト名	らい研究	47/2	実施調査		52年度 まで実績 累計	57,004	15	1
	(1) 協力期間	(R/Dなし)	昭和41年 月 ~ 昭和43年 月	48/12	機材修理					
		(R/D)	昭和47年 8月 ~ 昭和51年 3月	49/1	巡回指導					
		フォローアップ	昭和51年 4月 1日 ~ 昭和53年 3月 31日	50/12	機材修理					
	(2) 所在地		アグラ	51/3	エヴァリュ エーション		53 年度 実績	—	—	—
	相手国協力機関名		保健省 ICMR	52/2	機材修理					
	(3) 協力規模		1.4億円				54 年度 計画	—	—	—
	(4) 概要	<p>財アジア救らい協会がインド政府との間に昭和38年協定を締結して実施している医療協力活動と共に政府ベースにより昭和47年度から51年度末までの期間をもって、らいの研究（主として免疫研究早期発見、電顕技術分野）協力を実施した。</p> <p>昭和51年 3月 31日をもって日本側の活動はすべてインド政府保健省 Indian Council of Medical Research に引継がれた。</p>								
	(5) 無償(EN後)									
							55 年度 以後 見込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別				
	調	プロジェクト名	農業協力	54/	事前調査				
		(1) 協力期間	未定						
		(2) 所在地	未定						
		相手国協力機関名							
		(3) 協力規模	未定						
		(4) 概要	未定						
		(5) 無償(EN後)							

区分 ㊟ 医農産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概要	要	期日	種別				
18	継	プロジェクト名	スラウエシ工業技術訓練センター	47/10	事前調査		327,312	22	26
		(1) 協力期間	協定当初 昭和49年2月～昭和54年2月	48/5	実施協議				
			フォローアップ 昭和54年2月～昭和55年2月	49/7	巡回指導				
		(2) 所在地	ウジュンパンダン	51/3	"				
		相手国協力機関名	労働移住及び協同組合省	53/11	エバリュエーション				
(3) 協力規模	7.8億円				53年度実績	20,540	9	—	
(4) 概要	ジャカルタに集中している産業の地方分散化を図り、南スラウエシ地域の工業化に必要な技術者の養成を目的とする。					54年度計画	—	2	10
(5) 無償(EN後)						55年度以後見込	—	—	—

区分 セ 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト 概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名 看護教育 (1) 協力期間 R/D 昭和53年11月～昭和58年11月 (2) 所在地 ジャカルタ 他 相手国協力機関名 保健省 (3) 協力規模 約3億円(予定) (4) 概要 看護教育開発センター及び看護教員養成校を通じ、保健・看護婦の教育、 訓練に協力する。 (5) 無償(EN後)	52/7 53/10 54/5	事前調査 実施協議 計画打合せ	1,250	52年度 まで 実績 累計 53年度 実績 54年度 計画 55年度 以後 見込	— — 40,000 120,000	2 — 4 12	— — 2 12

区分 セ 農 産

アジア地域
 国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	家族計画	44/10	事前調査	1,287	52年度 まで実績累計	273,375	17	—
		(1) 協力期間	R/D 昭和45年3月～昭和52年3月 延長 昭和52年4月～昭和55年3月	45/12	実施調査					
		(2) 所在地	ジャカルタ	51/9	計画打合せ					
		相手国協力機関名	国家家族計画調整委員会	54/9	巡回指導					
		(3) 協力規模	6.0億円							
		(4) 概要	家族計画啓蒙、啓発、普及に必要な視聴覚教材の開発			53年度 実績	20,991	4	6	
		(5) 無償(EN後)				54年度 計画	93,186	4	3	
						55年度 以後見込	—	—	—	

区分 セ 農 産

アジア地域
 国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	中央生物学医学研究所	49/9	事前調査	1,679	52年度 まで 実績 累計	162,804	16	13
	(1) 協力期間	R/D	昭和50年4月～昭和55年3月	50/3	実施調査					
	(2) 所在地	ジャカルタ		52/2	計画打合せ					
	相手国協力機関名	国立中央生物学医学研究所		53/6	”					
	(3) 協力規模	5.7億円		54/8	エバリエーション	53年度 実績	31,978	4	2	
	(4) 概要	<p>本件プロジェクトはインドネシア政府が着手している第二次開発5ヶ年計画に沿って協力することになったもので、同国中央生物学医学研究所に対してワクチン等の「生物製剤の国家検定標準化及びウイルス研究活動の強化」を中心とした協力を実施している。</p> <p>(コレラ、チフス、破傷風、ジフテリア、百日咳、狂犬病の各ワクチン)</p>				54年度 計画	30,000	7	3	
	(5) 無償(EN後)					55年度 以後 見込	30,000	4	4	

区分 セ 因 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)	
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)					
	継	プロジェクト名	北スマトラ地域保健対策	51/12	事前調査	18,990	52年度 まで実績 累計				
		(1) 協力期間	R/D 昭和53年4月～昭和58年3月	52/9	実施協議						
		(2) 所在地	メダン他	54/6	実施設計						
		相手国協力機関名	保健省	54/10	巡回指導						1,287
		(3) 協力規模	6.4億円								
(4) 概要	地域開発の著しい北スマトラ、アサハン地域の住民の保健衛生水準の向上を図るため、ラボラトリーサービス、伝染病対策等に対する技術指導を行う。					53年度 実績	44,881 (資材費含)	6	5		
(5) 無償(EN後)						54年度 計画	126,103 (資材費含)	12	5		
						55年度 以後見込	180,000	30	15		

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別				
	新	プロジェクト名	南スマトラ森林造成	53/	事前調査	28,072	—	—	—
		(1) 協力期間	R/D 昭和54年4月～昭和59年4月	54/	実施設計				
		(2) 所在地							
		相手国協力機関名	林業総局						
		(3) 協力規模							
		(4) 概要	焼畑等により草原状となっている林地における森林造成技術の開発・改良を行うため、試験造林および機械化造林を行う。			52年度まで実績累計			
						53年度実績			
						54年度計画	50,000		
		(5) 無償(EN後)				55年度以後見込		6	

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概要	要	期日	種別				
	新	プロジェクト名	農業開発リモートセンシング技術	53/	事前調査	4,740	52年度まで実績累計		
		(1) 協力期間	未定	54/	実施協議				
		(2) 所在地	ジャカルタ						
		相手国協力機関名	公共事業省						
		(3) 協力規模	未定						
		(4) 概要	かんがい排水事業、移住計画作成のために必要な資料収集のためのリモートセンシング技術を確立する。			53年度実績			
		(5) 無償(EN後)				54年度計画		1	
						55年度以後見込			

区分	セ 医 農 産
----	---------

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト 概 要	調 査			年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期 日	種 別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名 中堅技術者養成計画 (1) 協力期間 R/D 昭和54年3月～昭和59年3月 (2) 所在地 ジャカルタ、チヘア及びバタンカルク 相手国協力機関名 農業省農業教育訓練庁 (3) 協力規模 未定 (4) 概 要 技術移転を末端の農民にまで及ぼすための農業普及員等の中堅農業技術者養成計画として、農業普及員の養成訓練を目的とし、農業省農業教育訓練普及庁への助言指導及び地域訓練センターの強化計画。 (5) 無 償(EN後)	53/11	実施協議	2,541	52年度 まで実績累計	—	—	—
			54/3	計画打合せ					
			54/10	巡回指導					
			55/1	計画打合せ					
						53年度 実績	—	—	—
						54年度 計画	10,000	7	4
						55年度 以後見込	240,000	35	40

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)	
		概	要	期口	種別					54年度 計画(千円)
	継	プロジェクト名	浅海養殖	53/8	実施協議	52年度 まで実績累計	—	—	—	
		(1) 協力期間	R/D 昭和53年8月～昭和57年3月	54/	巡回指導					2,320
		(2) 所在地	セラン市							
		相手国協力機関名	農業研究開発庁							
		(3) 協力規模	370,000千円							
		(4) 概要	ジャワ本島における海産動物蛋白の供給を目的として、魚貝類の増養殖技術の研究開発を行う。				53年度実績	—	2	—
		(5) 無償(EN後)					54年度計画	—	—	—
							55年度以後見込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	養蚕開発協力	47/3	事前調査	3,520 (タイ含む)	52年度 まで実績 累計	232,500	55	29
	(1) 協力期間	R/D	昭和51年3月～昭和53年2月	49/10	"					
		協定	昭和53年2月～昭和58年2月	50/11	実施協議					
	(2) 所在地	南スラウェシ州	センターの位置:ゴア県 サブセンターの位置:ソッペン市	51/3	計画打合せ		53年度 実績	40,876	10	5
	相手国協力機関名	農業省林業総局養蚕部		51/8	実施設計					
	(3) 協力規模	約10億円		52/3	巡回指導					
	(4) 概要	養蚕センター、サブセンターにおける実用試験、養蚕桑苗の増殖、配布並びに技術者、農民の訓練。		53/11	"					
				54/2	"		54年度 計画	53,120	11	5
	(5) 無償(EN後)	昭和51年度(養蚕センター桑園のかんがい施設) 100百万円								
							55年度 以後見込	216,644	12	5

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	南スラウエシ農業開発計画	50/11	事前調査	22,300	52年度 まで実績 累計	74,828	11	3
	(1) 協力期間	R/D	昭和51年12月～昭和54年6月 (30ヶ月延長予定)	51/5	実施協議					
				52/6	計画打合せ					
	(2) 所在地	ウジュンパンダン		53/2	巡回指導					
		相手国協力機関名	農業省官房計画局	53/7	“					
	(3) 協力規模	約4.2億円		54/3	エバリュエーション					
	(4) 概要	国家目標に即した地域農業開発計画策定のための技術者の養成。		54/	実施設計					
							53年度 実績	11,000	16	12
							54年度 計画	10,000	18	6
	(5) 無償(EN後)						55年度 以後見込	60,000	18	8

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	家畜衛生協力	51/7	事前調査	3,190	52年度 まで実績累計	40,000	3	2
	(1) 協力期間	R/D	昭和52年7月～昭和55年7月	52/7	実施調査					
	(2) 所在地	メダン及びタンジュンカラ	(トルクベトンより30km)	53/2	計画打合せ					
	相手国協力機関名	農業省畜産総局		53/11	巡回指導					
	(3) 協力規模			54/	エバリュエーション					
	(4) 概要	スマトラ島メダン及びタンジュンカラの家畜衛生センターにおける家畜疫病の調査、診断業務等の技術指導				53年度実績	68,000	6	4	
	(5) 無償(EN後)	昭和52年度(家畜衛生研究センター)600百万円				54年度計画	20,000	10	4	
						55年度以後見込	80,000	8	4	

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	ボゴール農科大学農産加工	51/3	事前調査	2,753	52年度 まで実績 累計	30,000	—	—
	(1) 協力期間	R/D	昭和52年10月～昭和54年10月	52/6	実施協議					
	(2) 所在地	ボゴール	(ジャカルタより南方約60km)	52/10	計画打合せ					
	(2) 相手国協力機関名	ボゴール農科大学		53/3	巡回指導					
	(3) 協力規模			54/7	"					
	(4) 概要	ボゴール農科大学農産加工学科において穀物、油料種子等の実験実習用加工機材の充実強化を行い教育と研究の質的向上を図るとともに、同学科関係の教授、学生など農産加工関係の人材の養成に協力する。					53年度 実績	51,000	5	7
	(5) 無償(EN後)						54年度 計画	55,000	13	6
							55年度 以後見込	240,000	25	18

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別				
	継	プロジェクト名	ジャワ山岳林収獲技術協力	52/7	事前調査	27,397	—	—	—
		(1) 協力期間	R/D 昭和52年12月3日署名 協力は専門家派遣 (昭和53年4月～昭和56年4月)	53/5	実施設計				
		(2) 所在地	マデューン (スラバヤより西方180km) プカロンガン (スラバヤより西方360km)	53/12	計画打合せ				
		相手国協力機関名	国営森林公社						
		(3) 協力規模							
		(4) 概要	山岳地に於ける収獲技術の移転のため、東部ジャワ州マデューン・トレーニング・インスティテュートを設立し、基礎的な講義、実習を行い、中部ジャワ州プカロンガン営林署内にモデル事業林を設定し、オン・ザ・ジョブ・トレーニングを行う。				82,000	8	4
		(5) 無償(EN後)					80,000	8	4
							150,000	10	8

区分 セ 医 農 産

アジア地域
 国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名 農業研究(ボゴール)	44/9	事前調査	1,642	52 年度 まで 実績 累計	313,640	32	24
	(1)	協力期間 協定 昭和45年10月～昭和50年10月	45/3	実施協議					
		延長 昭和50年10月～昭和53年10月	48/2	巡回指導					
		R/D 昭和53年10月～昭和58年10月	49/11	"					
	(2)	所在地 ボゴール市(ジャカルタ南方約60km)	50/6	エバリュエーション		53 年度 実績	50,000	9	7
		相手国協力機関名 中央農業研究所	53/7	"					
	(3)	協力規模 約17.1億円	53/10	実施協議		54 年度 計画	40,000	16	1
	(4)	概要 豆類及びその他の食糧作物の育種栽培、水管理、施肥法、雑草防除等に 関する研究、情報の交換等。							
	(5)	無償(EN後) 昭和50年度(研究施設建設)102.6百万円				55 年度 以後 見込	660,000	34	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概要	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	ランボン農業開発計画	46/7	事前調査	11,416	52年度まで実績累計	960,071	28	25
	(1) 協力期間	協定	昭和47年11月～昭和52年11月	47/3	実施設計					
		延長	昭和52年11月～昭和55年11月	49/3	巡回指導					
	(2) 所在地	相手国協力機関名	テギネネンセンター(ランボン州タンジュカラ より北方約30km)及び中南部ランボン州 農業省食糧作物総局	50/2	"					
	(3) 協力規模		約17億円	51/3	"					
	(4) 概要		テギネネンセンターにおける実用試験の実施, 普及員等に対する訓練, 水田及び畑地帯における農業開発のための改良技術の演示, (特に優良種 苗の増殖, 配布及び病虫害防除活動)	51/6	"					
				52/6	エバリュエーション		53年度実績	63,548	8	6
				53/10	巡回指導					
				54/11	中間エバリュエーション		54年度計画	60,000	8	6
	(5) 無償(EN後)		昭和51年度(農業普及活動強化のための地方普及センター設立) 120百万円							
						55年度以後見込				

区分 セ 医 農 産

アジア地域
 国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト名	概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
				期日	種別	54年度 計画(千円)				
	終	プロジェクト名	西部ジャワ食糧増産	42/9	実施協議		52年度 まで実績 累計	210,128	13	—
	(1) 協力期間	協定	昭和43年5月～昭和49年5月	44/2	巡回指導					
		フォローアップ	昭和49年5月～昭和51年5月	45/11	実施設計					
	(2) 所在地		ボゴール, チャルジュール, (チヘア) 他	46/6	巡回指導					
		相手国協力機関名	農業省農業総局	48/3	〃		53年度 実績	—	—	—
	(3) 協力規模		4.8億円	49/2	〃					
		(4) 概要	<p>イ国政府の食糧増産計画推進の一環として次の3計画に協力した。</p> <p>① ボゴールのムアラ試験地における水稲優良種子の生産・検査・普及についての計画</p> <p>② スカマンデー国営農場及びジャカルタ郊外のパッサルミンゴの農機具部における訓練計画</p> <p>③ チャルジュールの子ヘア州営農場における水稲の生産技術, 農業機械化, 土地改良, 農協活動等の助言</p>	49/11	エバリュエーション		54年度 計画	—	—	—
		(5) 無償(EN後)								

区分	セ 医 農 産
----	---------

アジア地域
国名 インドネシア

件数		区分		プロジェクト		調査		年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
件数	区分	概	要	期 日	種 別	54年度 計画(千円)					
	調	プロジェクト名	南スラウエン農業開発2次	54/	事前調査			52 年度 まで 実績 累計	—	—	—
		(1) 協力期間	未定								
		(2) 所在地	未定								
		相手国協力機関名									
		(3) 協力規模	未定					53 年度 実績	—	—	—
		(4) 概要									
		南スラウエン州の開発計画作成に関する技術協力の成果をふまえ、その一部に対する実証的開発を含む技術協力。						54 年度 計画	—	—	—
		(5) 無償(EN後)						55 年度 以後 見込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)	
件数	区分	概要	期日	種別					54年度 計画(千円)
	調	プロジェクト名 かんがい排水技術センター (1) 協力期間 未定 (2) 所在地 未定 相手国協力機関名 (3) 協力規模 未定 (4) 概要 かんがい排水事業の建設工事, 同施工監理政府職員の訓練等に関する技術協力 (5) 無償(EN後)	54/	事前調査		52年度まで実績累計	—	—	—
						53年度実績	—	—	—
						54年度計画	—	—	—
						55年度以後見込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	新	プロジェクト名	作物保護	54/	実施協議		52年度 まで実績 累計	—	—	—
		(1) 協力期間	未定				53年度 実績	—	—	—
		(2) 所在地	未定				54年度 計画	—	—	—
		相手国協力機関名	農業省食糧作物総局				55年度 以後見込	—	—	—
		(3) 協力規模	未定							
		(4) 概要	東部ジャワ及びカリマンタンを除く地域において、インドネシア農業研究協力プロジェクトの作物病虫害予防に関する成果を農場レベルに適用するための技術協力。							
		(5) 無償(EN後)								

区分 セ 医 農 館

アジア地域
国名 インドネシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	建材開発	52/2	事前調査	2,773	52年度 まで実績累計	—	—	—
	(1) 協力期間	R/D	昭和 53年 7月 ~ 昭和 57年 7月	53/7	実施協議					
	(2) 所在地	バンドン市		54/下期	計画打合せ					
	相手国協力機関名	公共事業電力省建築研究所 工業省窯業研究所					53年度 実績	—	3	2
	(3) 協力規模	4.5 億円								
	(4) 概要	地場資源を有効に利用した建材（パルプセメントボード及び人工軽量骨材）の製造加工に関する技術協力。					54年度 計画	41,570	6	5
	(5) 無償（EN後）									

区分 ⑫ 医農産

アジア地域
国名 韓国

件数	区分	プロジェクト		調査		54年度 計画(千円)	年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)	
		概	要	期日	種別						
4	継	プロジェクト名	大田職業訓練院		48/8	事前調査	2,691	52年度 まで 実績 累計	417,782	12	10
		(1) 協力期間	協定 昭和51年3月～昭和55年3月		49/7	実施協議					
		(2) 所在地	大田市(京城より約200km)		52/9	巡回指導					
		相手国協力機関名	労働庁		53/11	機材修理					
		(3) 協力規模	5.9億円		54/	エバリュエーション					
(4) 概要	韓国の人力開発計画の一環として、韓国職業訓練法に基づく技能工及び技術工の訓練を行う。		〃	実施計画	53年度 実績	—	10	5			
(5) 無償(EN後)					54年度 計画	—	6	7			
							55年度 以後 見込	—	—	—	

区分 セ 農 産

アジア地域
国名 大韓民国

件数	区分	プロジェクト概要	調査		54年度計画(千円)	年度別	機材(千円)	専門家(人)	研修員(人)
			期日	種別					
	継	<p>プロジェクト名 聖パウロ病院循環器センター</p> <p>(1) 協力期間 昭和54年3月～昭和58年3月</p> <p>(2) 所在地 ソウル</p> <p>相手国協力機関名 韓国循環器センター</p> <p>(3) 協力規模 4.5億円</p> <p>(4) 概要 循環器疾患に対する総合的治療・診療技術を向上させるべく、同センターのレベル・アップを図る。</p> <p>(5) 無償(EN後)</p>	53/8	事前調査		52年度まで実績累計	—	—	—
			54/2	実施協議		53年度実績	—	—	—
						54年度計画	60,000	4	5
						55年度以後見込	200,000	14	16

区分 セ 農 産

アジア地域
国名 韓 国

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概 要	期 日	種 別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	中央大学校臨床栄養研究センター	50/9	実施調査	52年度 まで実績累計	161,455	28	5
		(1) 協 力 期 間	R/D 昭和50年10月～昭和54年9月						
		(2) 所 在 地	ソウル						
		相手国協力機関名	中央大学校臨床栄養研究センター						
		(3) 協 力 規 模	4.7億円			53 年 度 実 績	48,112	7	—
		(4) 概 要	韓国における国民栄養調査規模の拡大及び食品分析、栄養性疾患臨床面の中心機関である同センターのレベル・アップを計る。			54 年 度 計 画	—	2	2
		(5) 無 償 (EN後)				55 年 度 以 後 見 込	—	—	—

区分 セ 農 産

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概 要	期 日	種 別	54年度 計画(千円)					
	終	プロジェクト名	カソリック医科大学産業医学センター	46/8	実施調査		52年度まで実績累計	216,045	38	9
		(1) 協力期間	R/D 昭和46年 月 ~ 昭和48年 月	46/7	計画打合せ					
		(2) 所在地	ソウル	48/10	エバリュエーション					
		相手国協力機関名	カソリック医科大学産業医学センター	49/8	計画打合せ					
		(3) 協力規模	3.6億円				53年度実績	—	—	—
		(4) 概要	韓国における産業災害の調査研究及び臨床面のレベルアップのため、技術指導を行った。				54年度計画	—	—	—
		(5) 無償(EN後)					55年度以後見込	—	—	—

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 韓 国

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機 材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期 日	種 別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	農業研究計画	47/11	事前調査		52 年度 まで 実績 累計	209,563	38	48
	(1) 協力期間	協定	昭和49年6月～昭和54年6月	49/3	計画打合せ					
	(2) 所在地	京城道水原市他		49/7	実施計画 打合せ					
		相手国協力機関名	農村振興庁, 作物試験場他8試験場	51/3	〃		53 年 度 実 績	54,000	11	14
	(3) 協力規模	約7.5億円		51/12	巡回指導調査					
	(4) 概要	水稲, 普通作物等の多収性品種, 土壌肥料, 作物栄養, 除草剤等の研究。		52/3	〃					
				53/3	〃		54 年 度 計 画	15,000	10	7
				53/7	エバリュエ ーション					
				54/3	エバ報告& R/D署名					
				55/3	計画打合せ		55 年 度 以 後 見 込	6,000	20	12
	(5) 無償(EN後)	昭和51年度(麦類研究所実験用装置)	100百万円							

区分 セ 医 農 産

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
0	終	プロジェクト名	タゴン農業開発	43/1	実施協議		52 年度 まで 実績 累計	266,480	22	—
		(1) 協力期間	協定 昭和45年4月～昭和50年4月	43/12	実施設計調査					
			延長 昭和50年4月～昭和52年4月	44/3	計画打合せ					
		(2) 所在地	タゴン(ヴィエンチャン市外)	44/7	実施協議		53 年度 実績	—	7	—
		相手国協力機関名	農業省	44/7	計画打合せ					
		(3) 協力規模	6.6億円	46/3	巡回指導		54 年度 計画	—	—	—
		(4) 概要		48/2	実施協議					
			ヴィエンチャン平原の水稲2期作のための近代的灌漑の模範地区を完成 するため、約100haのパイロット農場に於て、	49/3	巡回指導					
			① 道路・灌漑及び排水施設の建設	49/7	エバリュエーション		55 年度 以後 見込	—	—	—
			② 営農及び普及活動を通じての稲作栽培、畜産、園芸に関する技術の改善	50/8	計画打合せ					
	③ ラオス技術者の技術訓練									
	④ ラオス人の農民に対する営農指導を行った。									
	(5) 無償(EN後)									

区分 ㊤ 医農産

アジア地域
 国名 マレーシア

件数	区分	プロジェクト概要	調査		54年度計画(千円)	年度別	機材(千円)	専門家(人)	研修員(人)
			期日	種別					
4	継	プロジェクト名	金属工業技術センター		53/2	2,072	—	—	—
		(1) 協力期間	R/D	昭和53年8月～昭和57年8月	53/8				
		(2) 所在地	クアラルンプール市		54/10				
		相手国協力機関名	科学技術環境省標準工業研究所(SIRIM)						
		(3) 協力規模	9.7億円						
(4) 概要	部品工業のうち基本分野ともいえる電気メッキ、プレス金型、プレス加工、溶接の四業種について、技術能力及び経営能力の向上と近代化に必要な指導者の育成を目的とした技術協力。		53年度実績	63,337	9	4			
(5) 無償(EN後)			54年度計画	105,000	15	6			
						55年度以後見込	231,000	21	12

区分 ④ 医農産

アジア地域
国名 マレーシア

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	蘇	プロジェクト名	MARA ジョホールバル職業訓練校	51/2	事前調査	2,780	52年度 まで実績 累計	89,195	3	3
		(1) 協力期間	R/D 昭和51年9月～昭和55年9月	51/9	実施協議					
		(2) 所在地	ジョホールバル(クアラルンプールより約420km)	54/	機材修理					
		相手国協力機関名	国家地方開発省							
		(3) 協力規模	2.5億円							
		(4) 概要	初中級技能者育成の為理論及び実技の訓練を行いマレーシアの工業促進化に寄与することを目的とする。				53年度 実績	41,646	4	2
		(5) 無償(EN後)					54年度 計画	33,600	4	6
							55年度 以後見込	—	4	—

区分 ② 医農産

アジア地域
国名 マレーシア

件数	区分	プロジェクト概要	調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	<p>プロジェクト名 船舶機関士養成計画</p> <p>(1) 協力期間 協定当初 昭和48年12月～昭和52年12月 延長 昭和55年6月まで</p> <p>(2) 所在地 イポー(クアラルンプールより約240km)</p> <p>相手国協力機関名 教育省</p> <p>(3) 協力規模 4.9億円</p> <p>(4) 概要 船舶機関士として要求される基礎科目及び専門科目を教育訓練し、マレーシア政府が制定する海事法に基づく外航商船に乗り組む船舶機関士養成を目的とする。</p> <p>(5) 無償(EN後)</p>	47/3	予備調査	765	52年度 まで 実績 累計	199,196	21	16
			48/3	実施協議					
			49/9	巡回指導					
			50/5	"					
			52/2	機材修理					
			52/9	エバリュエーション					
			54/	巡回指導					
						53年度 実績	—	8	4
						54年度 計画	—	4	4
						55年度 以後 見込	—	4	—

区分 セ 農 産

アジア地域
国名 ネパール

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)		
		概	要	期日	種別					54年度 計画(千円)	
4	新	プロジェクト名	トリブバン大学医学部 (仮称)		54/5	事前調査	3,017	52年度 まで実績 累計	—	—	
		(1) 協力期間	未定		54/11	実施協議	2,542				
		(2) 所在地	カトマンドウ								
		相手国協力機関名	教育省								
		(3) 協力規模									
(4) 概要	トリブバン大学医学部に対する教授陣及び教育機材の整備、強化。					53年度 実績	—	—	—		
							54年度 計画	—	—	—	
		(5) 無償(EN後)						55年度 以後見込	—	—	—

区分 セ 農産

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
	継	プロジェクト名	西部地域公衆衛生対策	47/11	事前調査		52年度 まで実績 累計	151,051	33	1
	(1)	協力期間	R/D 昭和48年度～昭和52年度 昭和52年2月～昭和56年2月	48/10	実施調査					
	(2)	所在地	ポカラ	51/1	計画打合せ					
		相手国協力機関名	衛生省	52/1	"		53年度 実績	22,357	6	1
	(3)	協力規模	6.3億円	53/2	エヴァリュ エーション					
	(4)	概要	本件プロジェクトはネパールの西部地域に対する保健医療の向上、とくに同地域の公衆衛生の向上、臨床検査技術の指導並びに結核の予防活動等に関し指導協力し、これらとあわせて同国政府が重点政策としているヘルス・ポストの整備拡充に資する。	54/8	機材修理					
	(5)	無償(EN後)	昭和53年度 5.5億円				54年度 計画	50,000 (資材費含む)	8	2
							55年度 以後見込	50,000	5	2

区分 セ 医 農 産

アジア地域
国名 ネパール

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)				
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)								
	継	プロジェクト名	農業開発計画 (ジャナカプール)	45/3	事前調査		52年度 まで実績累計	571,730	28	24				
	(1) 協力期間	R/D	昭和46年11月～昭和49年11月	45/11	実施協議									
		協定	昭和49年11月～昭和54年11月	46/10	実施設計調査									
	(2) 所在地		ジャナカプール (カトマンズより南東 300km)	47/8	計画打合せ									
		相手国協力機関名	食糧農業かんがい省	48/5	実施設計調査									
	(3) 協力規模		約13.9億円	49/5	計画打合せ	53年度 実績					36,515	16	4	
	(4) 概要		農業開発センターにおける改良農法の導入、普及員、農民の指導訓練及び深井戸かんがい地区の基礎整備、末端水管理の改良、山地開発計画の策定等。	50/3	巡回指導									
				50/9	"									
				51/3	"									
				51/11	"									
				52/4	"		54年度 計画	20,000	23	5				
				52/11	"									
				53/4	"									
				54/3	"									
				54/6	エバリュエーション		4,920	55年度 以後見込	80,000	—				—
	(5) 無償 (EN後)		昭和50年度 (普及シンドゥクセンター設立) 89.9百万円 昭和51年度 (農業倉庫建設) 150百万円											

区分 セ 医 農 畜

アジア地域
国名 ネパール

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)								
		概	要	期日	種別					54年度 計画(千円)							
	新	プロジェクト名	中小工業開発	54/2	事前調査	52年度 まで実績 累計	—	—	—								
		(1) 協力期間	昭和54年度～昭和57年度予定	54/下期	実施協議					53年度 実績	—	—	—				
		(2) 所在地	カトマンズ市											54年度 計画	—	2	—
		相手国協力機関名	商工省工業指導センター (ISC)														
		(3) 協力規模	4.7億円														
		(4) 概要	ネパール紙(手すき紙)、既製服製造、プロトタイプ機械の改良の分野において技術指導、人材養成、およびこれら業務の振興のためのアドバイスをを行う。														
		(5) 無償(EN後)															

区分 ② 医農産

アジア地域
国名 パキスタン

件数	区分	プロジェクト		調査			年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別	54年度 計画(千円)				
2	継	プロジェクト名	中央電気通信研究所	54/3	実施協議		52年度 まで実績 累計	—	—	—
		(1) 協力期間	R/D 昭和54年3月～昭和59年3月				53年度 実績	—	—	—
		(2) 所在地	イスラマバード				54年度 計画	67,000	9	5
		相手国協力機関名	運輸通信省				55年度 以後見込	140,000	20	20
		(3) 協力規模	5.5億円							
		(4) 概要	昭和38年より協力開始されたハリプール電通研究センターの老朽化に伴い、新研究所をイスラマバードに設置し、電信、電話、無線、伝送、製造(回路部品)に係る研究協力を実施するものである。							
		(5) 無償(EN後)	52, 53年度無償 22.0億円 (うち機材 6.3億円)							

区分 セ 因 農 産

アジア地域
国名 パキスタン

件数	区分	プロジェクト		調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
		概	要	期日	種別				
	新	プロジェクト名	医学研究	54/9	事前調査	3,017			
		(1) 協力期間	5ヶ年予定	55/1	実施協議	2,542	—	—	—
		(2) 所在地							
		相手国協力機関名							
		(3) 協力規模							
		(4) 概要							
		パキスタンにおける結核対策等に協力することにより、パ国保健医療技術の向上及び地域住民の保健衛生水準の向上を図る。							
		(5) 無償(EN後)							
						52年度 まで実績累計			
						53年度 実績			
						54年度 計画			
						55年度 以後見込			

区分 セ 医 農 産

件数	区分	プロジェクト概要	調査		年度別	機材 (千円)	専門家 (人)	研修員 (人)
			期日	種別				
	調	<p>プロジェクト名 林業教育研究</p> <p>(1) 協力期間 未定</p> <p>(2) 所在地 未定</p> <p>相手国協力機関名 未定</p> <p>(3) 協力規模 未定</p> <p>(4) 概要</p> <p>パキスタン国では、自国に豊富な森林資源を有しながらも伐採、搬出等に関する技術及び経験の不足から、これら資源の有効利用ができず、必要な木材を輸入に頼っている現状にある。そこでパキスタン政府は、ペシャワールを中心とするマツ類の森林を開発し、貴重な外貨を使っている現状の改善を図るとともに、パキスタンの地域開発に資することを目的とする。</p> <p>① 山岳地での伐木集材に関する技術</p> <p>② 流域管理に関する技術</p> <p>③ 森林経営に関する技術</p> <p>④ 野性動物の保護に関する技術</p> <p>以上①～④に関する技術についてのパ国林業指導者のレベルアップを図るための教育訓練である。</p>	54/	事前調査				
					52年度まで実績累計	—	—	—
					53年度実績	—	—	—
					54年度計画	—	—	—
					55年度以後見込	—	—	—